

保健室より

【とびひ】

水疱（水ぶくれ）ができジュクジュクして痒くなります。水疱が破れ細菌を含んだ液が手指に触れ、他の部位を触ると広がります。痒みと全身に広がるスピードが速いことが特徴です。

とびひの治療は、抗生物質入りの飲み薬と塗り薬で皮膚と身体の内側の両方から治療を行います。夏にかかりやすいため注意が必要です。



<対策と予防>

予防は爪を短く切り、掻き壊しを作らない事です。

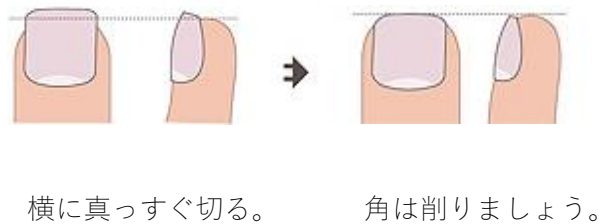
とびひになってしまったら、ガーゼなどで患部を覆って下さい。また、ガーゼが取れてしまった時のために予備を持参して下さい。子どもは、皮膚のバリア機能が未熟のため日頃から清潔を保ち、掻きむしり等を発見した場合には早めに皮膚科受診をして、うつらないように注意しましょう。



※保育園では、手作りの虫よけスプレーを準備し散歩などの戸外活動時で使用しています。

虫刺され時には、洗い流した後に冷やしタオルで冷やしています。

爪の切り方



【プール・水遊びについて】

保育園での、プール・水遊びでは一緒に遊ぶ職員のほかに、事故が起きないように全体を確認する「監視役」を配置しています。その人は、誰でもわかるようにビブスを着用します。

水遊び・プール遊びは思っている以上に体力を消耗します。その為、前日にはしっかりと睡眠をとりましょう。

<ご家庭で水遊び・プールに行く場合>

- ・子どもは数cmの深さで溺れることがありますので「一人にしない」「目を離さない」ようにしましょう。
- ・必ず、親が見守りましょう。
- ・普段よりも肌の露出が多くなるので紫外線対策として日焼け止めや長袖など着用しましょう。
- ・こまめな水分補給と休憩をとり熱中症を予防しましょう。

